

2020年 プノンペン マスタープラン・アップデートvol.1

先日、マスタープランのアップデートとして、カンボジア政府より、新しい幹線道路の建設計画が発表されました。今回の新幹線道路の建設により、東部ニューエリアに架かる橋が建設されることの重要性は更に増まします。

プノンペン東部ニューエリアの交通インフラ工事といえば、主にはマスタープラン内にある内環状線、中央環状線、外環状線、そしてスパイクラムブリッジを含む5つの橋ですが、ここに新しい幹線道路が加わることになります。

プノンペン都より50kmほど東に行ったところにプレイベン州という街があります。人口は約100万人で、メコン川に沿った地域が多いことからカンボジア有数の米産地となっています。そのためプレイベン州で農業に従事する人は80%を超えています。

このプレイベン州へプノンペンから行くためには、どこかでメコン川を渡らなければならない地形になっています。

ひとつは、プノンペン北部にあるPrek Tamak Bridgeを渡り国道8号線を走ると、もうひとつはプノンペンより国道1号線を南下し、Neak Loeng Bridgeを渡りプレイベンに行く方法です。

どちらのルートも橋のある北部と南部までグルッと迂回するような形になりますので、どうしても時間がかかってしまいます。

また、フェリーを使うにしても大型トラックは乗れなかったりしますので、モノや人などの大量輸送には不向きなところがあります。

そこでカンボジア政府は、プノンペン東部ニューエリアよりプレイベン州までの幹線道路を新しく建設すると発表しました。

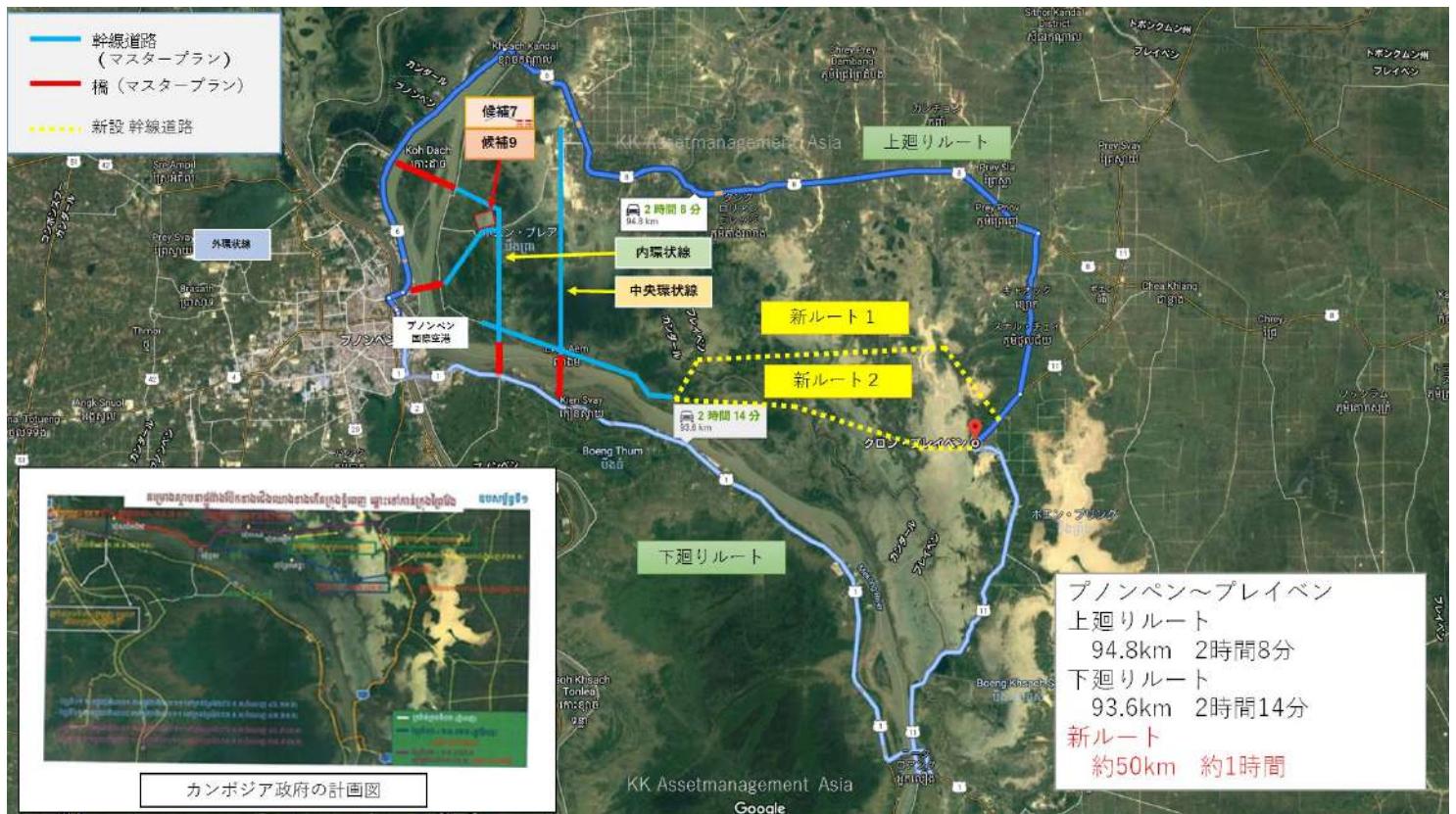
これはプノンペンマスタープラン内にある内環状線、中央環状線に架かる橋を使用することで、プノンペン中心地から東部ニューエリアへ簡単に渡河することが可能ですので、プレイベン州までの幹線道路が完成することで、時間と距離が現在の半分ぐらいになり、大幅に短縮することが可能になります。

上回りルート 走行距離：94.8km 所要時間：2時間8分

下廻りルート 走行距離：93.6km 所要時間：2時間14分

新ルート 走行距離：約50km 所要時間：約1時間

カンボジア政府から発表があった資料には、内環状線と中央環状線に架かる橋の計画もしっかり入っておりますので、あとは橋の建設時期の発表を待つだけです。



2020年 プノンペン マスタープラン・アップデートvol.2

プノンペン中心地に近い場所で、新しい橋の建設計画が発表されました。スマートシティ、ショッピングモール、高級住宅街を繋げる「新たな橋」の建設が計画されることで、このエリアのアクセスは更に良くなります。これにより不動産価格も上昇気味となっています。

カンボジア政府による発表

Meanchey地区のChak Angrae Leuと、Chbar Ampov地区のPrek Pra地区の間を流れるバサック川に新しい橋を建設する計画。（写真下部 赤枠の部分）



注目のエリア

Chak Angraeには、マスタープランの一部である、INGシティ・イオン3号店などの大型開発が進んでいるエリアで、Chbar Ampovは高級住宅エリアの開発が広がっている注目のエリアです。

現在Meanchey地区よりChbar Ampov地区へ行くためには、北側にある国道1号線が通っているモニボン橋をつかうか、南側にある内環状線が通っているトンレバサック・タクマウ橋を使う必要があります。

特にモニボン橋は、プノンペン中心地より近くて交通量も多いことから、日中は渋滞が頻繁に起こっています。

そこでカンボジア政府は、開発の進む2つの地区を結ぶ「新しい橋」を建設することで、交通渋滞の解消し周辺地域の利便性を向上させようとしています。



このエリアの延長上には、東部ニューエリアへアクセスするための内環状線、中央環状線上の橋に繋がるため、今回の橋の計画は東部ニューエリアにとってもプラスな計画となります。

2020年 プノンペン マスタープラン・アップデート vol.3

プノンペン新国際空港建設計画新着情報

プノンペン近郊に建設中の「新空港開発プロジェクト」に関する発表がありました。

現在、工事は3段階に分けて事業を進めており、2022年7月の試験的な供用開始を目指します。これが完成するとアジア最大の国際空港となり、長距離に使用される大型の航空機の離着陸で運用されます。

利用者数は、2030年までに2700万人、2050年まで3000万人の乗客を受け入れることが可能になります。

費用に関しては、総費用は15億ドル。

内訳：地元デベロッパーOCICから2億8000万ドル、OCICはダイヤモンドアイランドやオリンピアシティ、プノンペン衛星都市（Chroy Changvar Satellite city）など様々な巨大プロジェクトに投資を行っている会社です。

：公的資金1億2000万ドル。：海外の銀行からの融資で11億ドルとなります。

建設工事に関しては、中国系3社が建設を受注しています。

位置としては、プノンペンより南下したカンダール州タクマオに建設されます。

内環状線、中央環状線からのアクセスも便利になりカンボジア経済成長にとって大きくプラスされます。

